

# 退院後の新生児に対する産婦人科医 の対応に関するアンケート

福井 聖子、阿部 榮子

特定非営利活動法人小児救急医療サポートネットワーク

# 第32回日本外来小児科学会年次集会

## COI開示

筆頭発表者：福井 聖子

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係  
にある企業等はありません

# 目的

大阪府#8000（小児救急電話相談）における新生児の相談は全体の約1%だが、毎日2～3件の相談がある。近年は出産施設退院直後の第1週目の相談が増加した。多くは育児に不慣れな保護者が新生児の様子に不安を抱く育児相談的内容であるが、異常を否定できない場合もある。

大阪府ではOGCS（産婦人科診療相互援助システム）とNMCS（新生児診療相互援助システム）と、産前や出産直後から異常のある新生児に対しての受け入れ体制が整っているが、対象は産婦人科入院中の児に限られ、退院後の新生児の受け入れシステムはない。

今回は出産施設を退院したあとの新生児への対応について、現状を明らかにするため調査を行った。

# 期間と方法

期間：2023年3月1日～3月28日

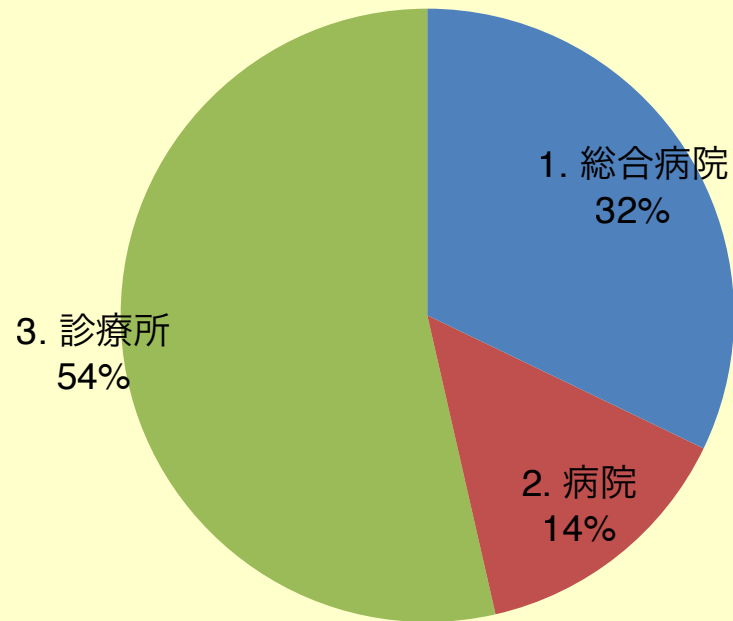
対象：大阪産婦人科医会会員分娩施設の産婦人科医

方法：質問紙送付：回答はネット入力またはFAX返送

配布数：123 回答数：56

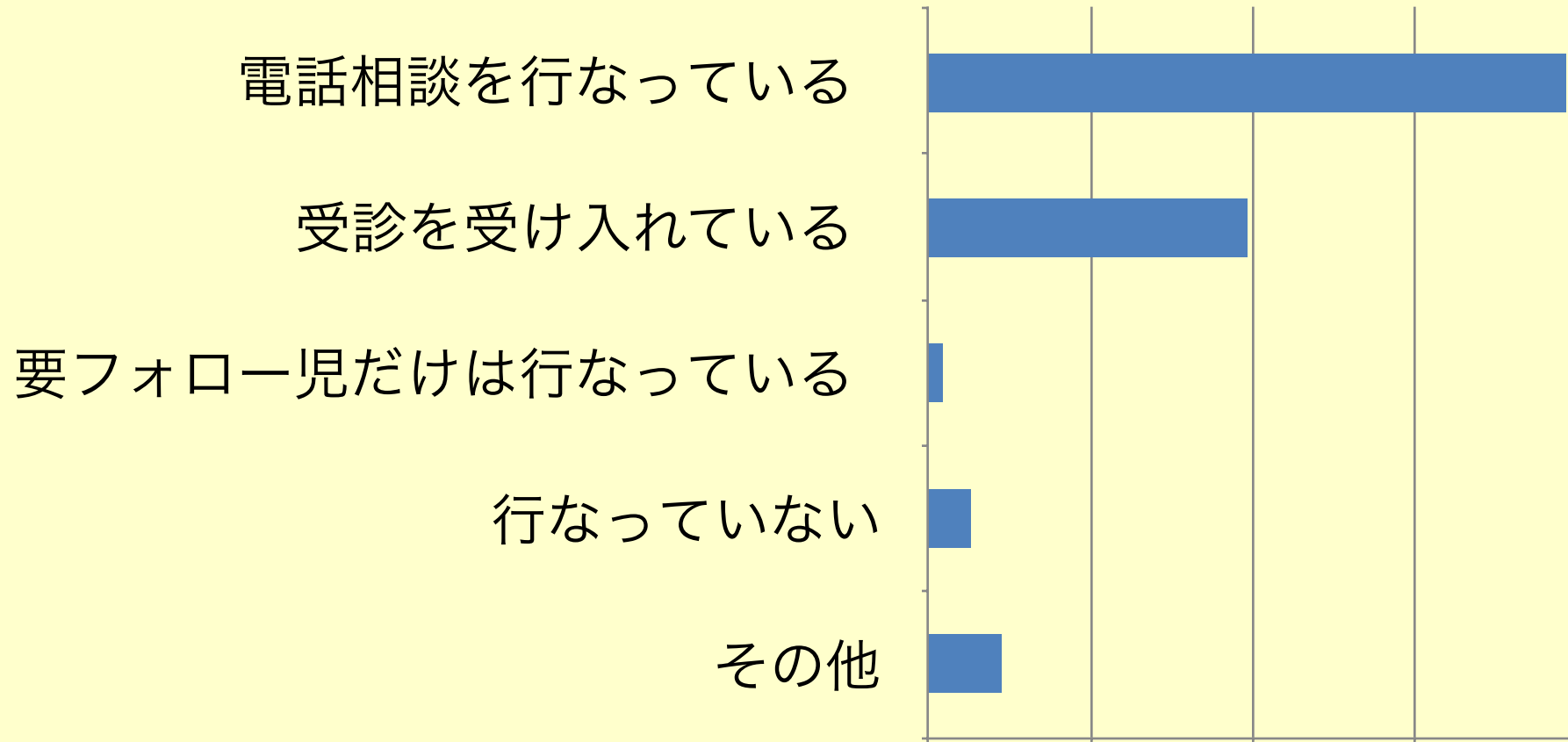
回収率 45.5%

# 結果：回答者の施設分類と分娩件数



年間の分娩件数	回答数	%	総合病院	病院	診療所
1,000件以上	5	8.9%	3	2	
600～999件	12	21.4%	6	1	5
300～599件	22	39.3%	3	3	16
100～299件	14	25.0%	5	2	7
100件未満	3	5.4%	1		2
合計	56	100.0%	18	8	30

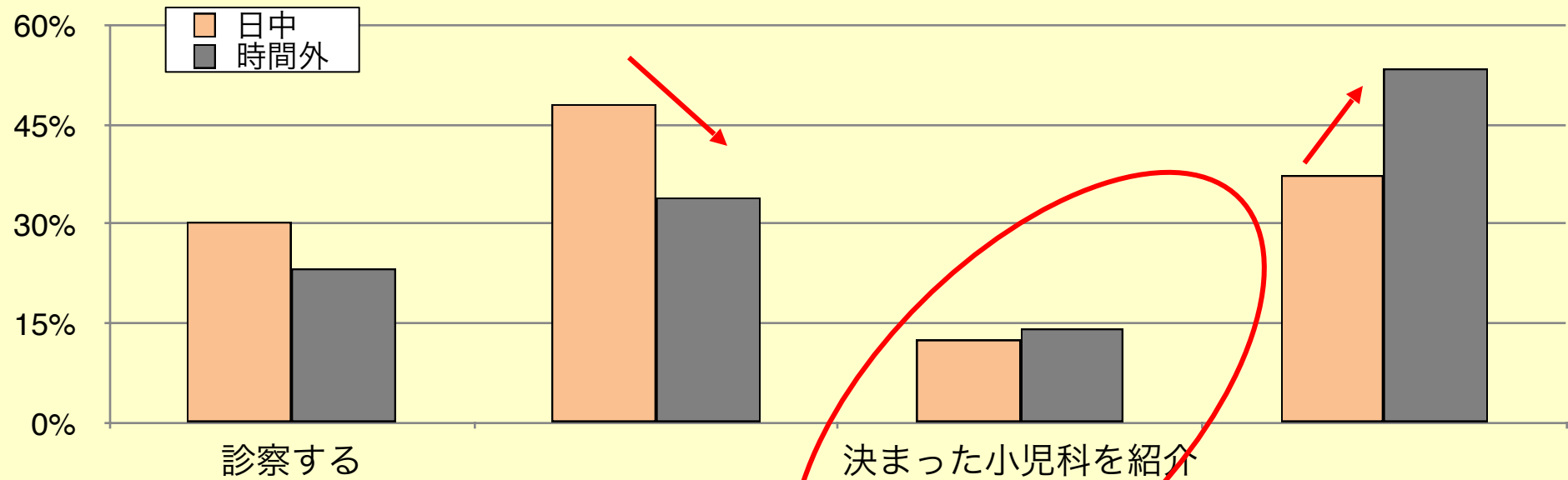
# 自院退院後の新生児について、夜間、電話相談や受診を受け入れていますか？（複数回答可）



その他：助産師対応・小児科またはNICUの医師・新生児科医が行っている 80%

退院時に、電話相談は日中にしていただくようお願いしているが、夜間に相談があった場合には対応している・分娩後より児は小児科が担当

診療時間外において、退院後の保護者から連絡があり、新生児に病気の疑いがある場合、診察はどのようにされていますか？（複数回答可）



# 夜間の育児相談ダイヤルに関して

知っているか？

	回答数	%
知っていて紹介している	9	16.1%
知っているが、紹介はしていない	6	10.7%
知らない	41	73.2%
合計	56	100.0%

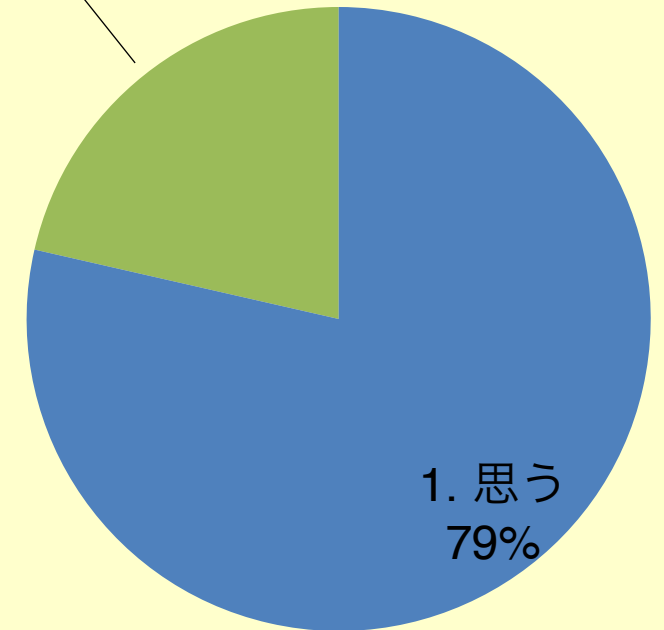
# 8000:2件

枚方健康ホットライン24 子育てしているいる相談センター

3. どちらともいえない

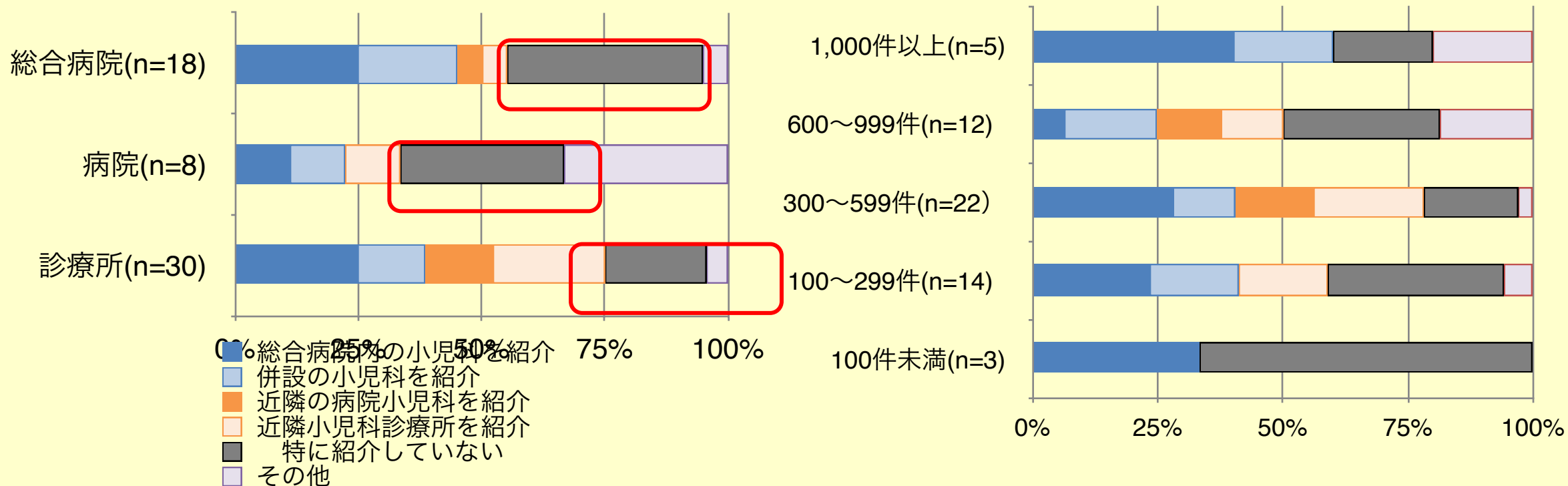
21%

必要と思うか？





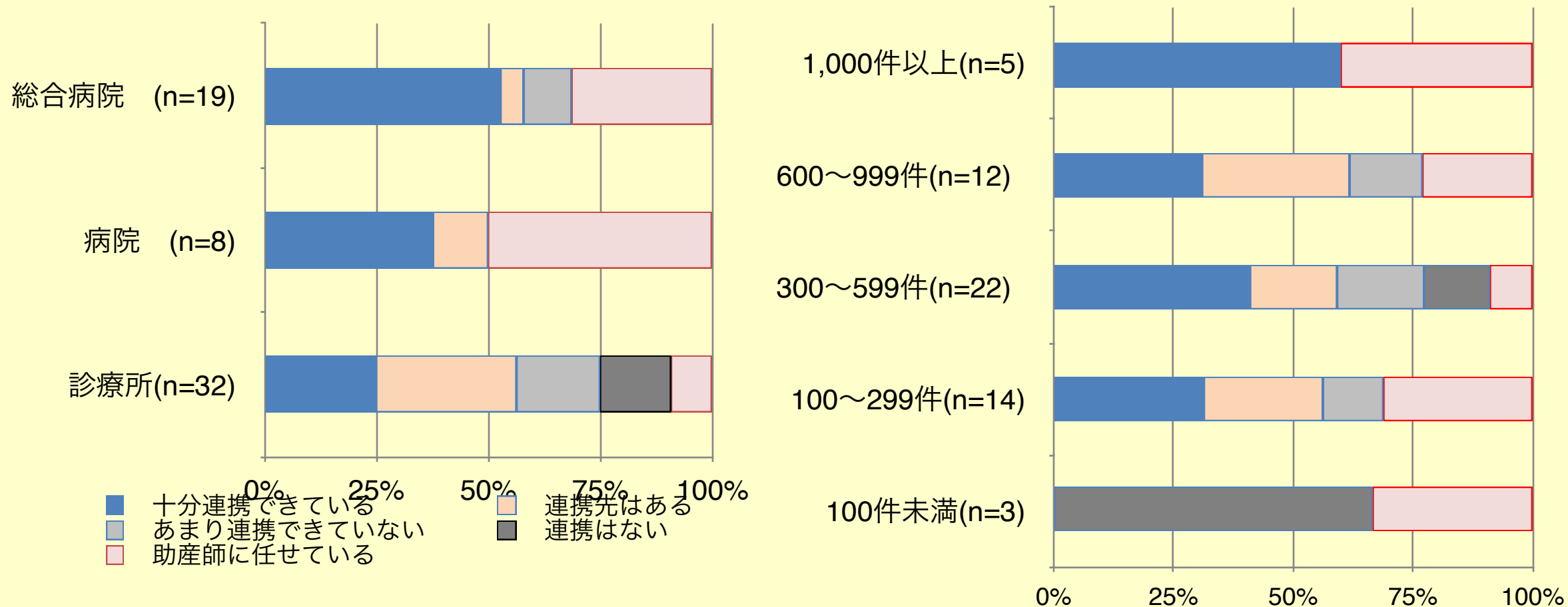
# 自院退院に際して、保護者に小児科医を紹介されていますか？（複数回答可）



## その他記述

- ・ 1 か月健診で予約をとっています。希望があれば母が望む医院を紹介
- ・ 地域の医師会の先生の一覧をおわたししている ・ 電話相談で救急対応が必要な場合は案内
- ・ 休日診療所・紹介の必要な症例に関して高次機関へ紹介 ・ 必要な場合のみ紹介する。

# 育児相談に関して、小児科医との連携について



## 記述 より

### 1. 産後退院されたあとの赤ちゃんのケアなどについて（回答9）

\*小児科医や公的機関への希望 4名

\*産婦人科医が主導で相談に乗るべき・対応している 2名

\*育児相談は助産師が行っている 1名

\*周産期施設における母子への支援の必要性 2名

### 2. 小児科医に期待したいことや課題等（回答7）

\*新生児受け入れの小児科医がわからない 5名

\*夜間の対応に困る 3名

\*電話相談・相談機関の必要性 2名

# 考察

\* 自院退院後の新生児について、夜間の電話相談や受診可であったが、児に病気の疑いがある場合には診療時間外では半数以上が受け入れ先を明確に保護者に提示できていなかった。

\* 小児科紹介については、35.7%が「特に紹介していない」で、分娩数の少ない診療所で率が高く、紹介しやすい仕組みづくりを検討すべきである。育児相談に関しても小児科医との連携は十分とはいえず、今後助産師と小児科医の連携も検討すべき課題の一つである。

\* 自由記述では、生後1～2か月の児に関して、産婦人科から小児科への連携が十分ではないとの指摘があった。新生児の受け入れを積極的に表明している小児科は少なく、「新生児をサポートする小児科医リスト」作成を検討している。

## 結語

各施設で電話相談や受診などの対応はされているが、施設により対応は異なり、大阪府内全域で十分な受け入れ体制が整っているとは言い難かった。

新生児のケアや保護者支援について、小児科医が新生児診療に積極的に携わり、産前産後の切れ目のない支援が可能となるように、産婦人科との連携に貢献できる方策を検討していきたい。

ご静聴ありがとうございました

